

沿革



昭和46年 庄原消防署 夜間広報

歴代の管理者



初代 紙屋 義孝
年数：4年8ヵ月
期間：昭45.10.1～50.6.12



2代 平川 昌三
年数：7年4ヵ月
期間：昭50.8.1～57.11.25



3代 田辺 昇三
年数：4年
期間：昭57.12.19～61.12.18



4代 福岡 義登
年数：14年4ヵ月
期間：昭61.12.19～H13.3.25



5代 吉岡広小路
年数：6年11ヵ月
期間：平13.5.14～20.4.17



6代 村井 政也
期間：平20.4.18～

歴代の組合議会議長



初代 杉原 茂文
年数：8ヵ月
期間：昭45.10.1～46.5.



2代 立花 篤男
年数：4年
期間：昭46.5.～50.5.



3代 前岡 怜
年数：8年
期間：昭50.5.～58.5.



4代 貢 逸登
年数：4年
期間：昭58.5.～62.5.



5代 鳥谷 行雄
年数：3年10ヵ月
期間：昭62.6.～平3.3.



6代 林正 勝美
年数：6年1ヵ月
期間：平3.7.～9.7



7代 林 保武
年数：11ヵ月
年数：平9.7.～10.5.



8代 中下 悦持
年数：9ヵ月
期間：平10.8.～11.4.



9代 杉原 秀明
年数：1年10ヵ月
期間：平11.7.～13.4.



10代 野崎 幸雄
年数：8ヵ月
期間：平13.8.～14.5.



11代 村井 政也
年数：1年8ヵ月
期間：平14.7.～16.3.



12代 竹岡 律男
年数：3年10ヵ月
期間：平16.6.～20.4.



13代 佐々木信行
年数：10ヵ月
期間：平20.6.～21.4.



14代 伊達 亮詞
期間：平21.6.～

歴代の消防長



初代 黒瀬 幸
年数：2年6ヵ月
期間：昭45.10.1～48.3.31



2代 飯田 悟
年数：2年
期間：昭48.4.1～50.4.1



3代 光久 要
年数：3年
期間：昭50.10.1～53.9.30



4代 大坪 義和
年数：7年8ヵ月
期間：昭53.10.1～61.6.1



5代 小林 成吉
年数：4年10ヵ月
期間：昭61.6.1～平3.3.31



6代 柏矢 訓明
年数：7年10ヵ月
期間：平3.4.1～11.1.31



7代 畠上 耕治
年数：1年2ヵ月
期間：平11.2.1～12.3.31



8代 箕田 英紀
年数：1年
期間：平12.4.1～13.3.31



9代 平尾 敏之
年数：2年
期間：平13.4.1～15.3.31



10代 望溪 昌義
年数：3年
期間：平15.4.1～18.3.31



11代 関徳 龍昭
年数：4年
期間：平18.4.1～22.3.31



12代 新川 康正
期間：平22.4.1～

備北地区消防組合の沿革

【昭和39年】

2月14日 三次市消防本部消防署設置の政令指定を受ける（告示第16号）

【昭和40年】

1月1日 三次市消防本部設置（三次市十日市町2200番地の2）

3月31日 三次市消防署設置（〃）（職員数17名）

〃 広島県議会議員 原田豊氏から消防ポンプ車（A2級、ニッサン）の寄贈を受ける

【昭和41年】

3月 三次市消防署に消防ポンプ車（A2級、ニッサン）配置

〃 職員6名増員（職員数23名）

【昭和43年】

12月 生命保険協会から救急車（トヨタ）の寄贈を受ける

【昭和44年】

1月15日 三次市消防署 救急業務開始

〃 〃 消防無線電話設置

4月2日 職員4名増員（職員数27名）

9月1日 三次市消防本部、三次市消防署を三次市十日市町1068番地の3に移転



昭和44年 三次市消防署 救急業務開始

【昭和45年】

3月 三次市、庄原市両市議会、三次地区消防組合設立規約等議決

4月1日 三次地区消防組合設立許可（広島県知事）

4月17日 庄原市、消防本部消防署設置の政令指定を受ける
（告示第62号）

9月30日 庄原消防署庁舎完成（庄原市本町1555番地の1）

10月1日 三次地区消防組合消防本部、三次消防署、庄原消防署発足（職員数46名）

11月 消防本部に指揮広報車（マツダ）配置



昭和45年 庄原消防署 庁舎完成

【昭和46年】

3月11日 庄原消防署に消防ポンプ車（A2級、ニッサン）配置

〃 〃 に小型動力ポンプ（トーハツ）購入

3月 庄原消防署 消防無線電話開設

4月1日 職員5名増員（職員数51名）

9月20日 日本船舶振興会から救急車（2B型、トヨタ）の寄贈を受け、庄原消防署に配置

10月1日 庄原消防署、救急業務開始

12月1日 三次消防署、庄原消防署に水槽付消防ポンプ車（A2級、いすゞ）配置



昭和46年 庄原消防署 警備室

12月1日 三次消防署に搬送車（マツダ）配置

【昭和47年】

4月1日 職員3名増員（職員数54名）
5月15日 庄原消防署に指揮広報車（マツダ）配置
7月12日 広島県北一帯未曾有の大水害に襲われる

【昭和48年】

4月1日 職員2名増員（職員数56名）
10月10日 三次消防署に消防ポンプ車（A2級、ニッサン）配置

【昭和49年】

2月1日 庄原消防署 庁舎改築
3月26日 日本損害保険協会から救急車（3B型、ニッサン）の寄贈を受け、三次消防署に配置
4月1日 職員10名増員（職員数66名）
〃 三次消防署 庁舎改築
5月10日 三次消防署に指揮広報車（マツダ）配置
〃 庄原消防署に搬送車（ニッサン）配置

【昭和52年】

1月10日 比婆郡5町と集団事故救急業務応援協定の締結
4月1日 消防署機構改革実施
7月 三次市、庄原市、東城町各市町議会、三次地区消防組合同規約変更を議決し、三次地区消防組合に東城町加入
8月1日 三次地区消防組合同規約変更許可（広島県知事）
9月2日 東城消防署要員として、職員2名増員（職員数68名）
9月6日 三次消防署、庄原消防署に林野火災用簡易ポンプ配置
9月20日 日本消防協会から救急車（2B型、ニッサン）の寄贈を受け、庄原消防署に配置
10月1日 東城町加入に伴う消防本部増強として、職員2名増員（職員数70名）
10月14日 消防本部に指揮広報車（ニッサン）配置
11月16日 東城消防署要員として、職員1名増員（職員数71名）

【昭和53年】

1月4日 東城消防署要員として、職員5名増員（職員数76名）
3月25日 東城消防署庁舎完成
4月1日 東城消防署要員として、職員12名増員（職員数89名）
東城消防署発足（比婆郡東城町109の5）により1本部、3消防署となる
4月1日 東城消防署 消防無線電話開設
4月4日 東城町、消防本部消防署設置の政令指定を受ける（告示第60号）
8月30日 神石郡神石町と救急業務応援協定締結



昭和47年 7月12日
三次市47年水害



昭和53年 広島県総合防災訓練

- 9月18日 東城消防署に消防ポンプ自動車（A2級、ニッサン）配置
- 10月1日 兼務であった庄原消防署長を専任としたため、職員1名増員（職員数90名）
- 10月16日 日本道路公団と中国自動車道救急業務に関する覚書を締結
- 10月20日 日本消防協会から広報車（三菱）の寄贈を受け、東城消防署に配置
- 10月28日 中国自動車道における消防活動を円滑に処理するため、阿新広域事務組合と消防相互応援協定を締結
- 10月28日 中国自動車道開通



昭和53年 中国自動車道開通に伴う訓練

【昭和54年】

- 1月4日 中国自動車道の救急要員として職員7名増員（職員数96名）
- 3月15日 三次消防署に消防ポンプ自動車（B1級、いすゞ）配置
- 9月11日 日本消防協会から救急車（2B型、トヨタ）の寄贈を受け、三次消防署に配置

【昭和55年】

- 5月20日 消防本部、庄原消防署の指揮広報車（マツダルーチェ）更新
- 10月20日 三次市が東洋工業株式会社から寄贈を受けた連絡車（マツダファミリア）を消防本部に移管配置
- 12月17日 東城消防署に水槽付消防ポンプ自動車（A2級、日野）配置
- 12月24日 三次消防署の小型動力ポンプ積載車（マツダタイタン）更新

【昭和56年】

- 2月4日 庄原消防署に消防ポンプ自動車（B1級、いすゞ）配置

【昭和57年】

- 2月22日 東城消防署に救急車（2B型、ニッサン）配置
- 3月25日 庄原消防署の小型動力ポンプ積載車（ニッサンサファリ）更新
- 〃 東城消防署に小型動力ポンプ積載車（ニッサンサファリ）配置
- 3月 三次市、庄原市、東城町、双三郡君田村・布野村・作木村・吉舎町・三良坂町・三和町、比婆郡西城町・高野町・比和町・口和町、甲奴郡甲奴町・総領町のそれぞれの議会は、三次地区消防組合の規約を変更し、従来の2市1町に12町村を加え、名称を備北地区消防組合と議決した
- 4月1日 三次地区消防組合規約変更許可（広島県知事）
- 〃 備北地区消防組合と名称変更する（2市、10町、3村管轄）
- 〃 出張所要員として73名増員（職員数167名）
- 4月2日 双三郡君田村・布野村・作木村・吉舎町・三良坂町・三和町、比婆郡西城町・高野町・口和町・比和町、甲奴郡甲奴町・総領町は消防本部、消防署設置の政令指定を受ける（告示第78号）



昭和57年 三次消防署 消防・救急指令装置導入

4月22日 三次消防署に指揮広報車（マツダルーチェ）配置

6月25日 三次消防署に気象観測装置導入

6月30日 消防本部、三次消防署庁舎竣工

〃 東城消防署庁舎竣工（比婆郡東城町大字川東1175番地）

〃 消防本部、三次消防署に広島県防災行政無線設置

7月1日 消防本部へ職員7名増員（職員数174名）

9月1日 消防本部に課制（庶務、予防、警防）を、消防署に出張所を設ける

9月17日 7出張所配置分として消防ポンプ自動車（BD-I型、ニッサンサファリ）7台購入

9月22日 7出張所配置分として救急自動車（2B型、ニッサンホームー）7台購入

9月30日 三次消防署作木出張所・吉舎出張所・三和出張所・口和出張所・甲奴出張所・庄原消防署西城出張所・高野出張所庁舎竣工

9月30日 三次消防署に救急指令装置導入

10月1日 三次消防署作木出張所・吉舎出張所・三和出張所・口和出張所・甲奴出張所・庄原消防署西城出張所・高野出張所業務開始



昭和57年 7出張所 ポンプ車・救急車・配車式

きょう業務開始



備北地区消防組合も
7出張所 15市町村カバ!

昭和57年 10月1日 7出張所業務開始
(昭和57年10月1日付 中国新聞社提供)

【昭和58年】

3月2日 消防庁長官表彰竿頭綬を受ける

4月1日 (財)広島県消防設備管理協会備北支所開設（消防本部予防課内）

4月28日 東城消防署の指揮広報車（マツダルーチェ）更新

8月10日 日本消防協会から指揮広報車（トヨタカーリーナバン）の寄贈を受け消防本部に配置

10月22日 三次消防署に化学消防車（II型、三菱フソー）配置

12月20日 広島県同栄社共済連から救急車（2B型、トヨタハイエース）の寄贈を受け庄原消防署に配置



昭和58年 県北初 化学消防車を配備

【昭和60年】

3月30日 庄原消防署庁舎竣工（庄原市新庄町396の1番地）

〃 庄原消防署に救急指令装置導入

〃 7出張所にC1級小型動力ポンプ配置

【昭和61年】

2月13日 三次消防署の救急車（2B型、トヨタハイエース）更新

2月15日 三次消防署作木出張所、庄原消防署高野出張所の救急車（2B型いすゞファーゴ4WD）更新

8月26日 日本損害保険協会から消防ポンプ車（BD-Iニッサン）の寄贈を受け三次消防署に配置



昭和61年 9月14日
庄原本町建物大火（18棟焼損）

10月28日 三次消防署口和出張所、庄原消防署西城出張所の救急車（2B型いすゞファーク4WD）更新

11月27日 庄原消防署に化学消防車Ⅱ型（三菱フソー）配置

【昭和62年】

3月26日 三次消防署に30mはしご付消防自動車（ニッサン）配置

7月17日 三次消防署に折りたたみ式アルミボート配置

10月1日 広島県内消防広域相互応援協定を締結

広島県内高速自動車道相互応援協定を締結

【昭和63年】

1月11日 消防本部の査察広報車（マツダボンゴ4WD）更新

3月15日 東城消防署に救急指令装置を導入

3月24日 江津市外7町村消防組合と県境隣接広域消防相互応援協定を締結

3月 三次市、庄原市、東城町、双三郡君田村・布野村・作木村・吉舎町・三良坂町・三和町、比婆郡西城町・高野町・比和町・口和町、甲奴郡甲奴町・総領町のそれぞれの議会は分担金の支弁方法について、備北地区消防組合の規約の一部変更を議決した

4月1日 消防本部、消防署欠員補充のため職員6名採用（職員数172名）

三次消防署に特別救助隊設置

5月10日 備北地区消防組合同規約変更許可（広島県知事）

5月11日 消防本部に公用車（マツダルーチェ）配置

12月19日 庄原消防署に消防ポンプ車（CD-I型、いすゞ4WD）配置

【平成元年】

1月8日 元号、平成となる

3月20日 三次消防署作木出張所に無線中継局設置

3月29日 三次消防署に救助工作車（Ⅱ型、日野レンジャー）配置

11月11日 広島県同栄社共済農業協同組合連合会から救急車（2B型、ニッサンキャラバン）の寄贈を受け庄原消防署に配置

12月26日 庄原消防署の指揮広報車（マツダボンゴ4WD）更新

12月27日 三次消防署吉舎出張所、甲奴出張所の救急車（2B型、ニッサン4WD）更新

【平成2年】

3月14日 三次消防署に訓練塔建設

5月16日 消防本部の指揮広報車（マツダファミリア4WD）更新

9月13日 日本防火協会から防火広報車（いすゞファーク）を備北地区消防組合幼少年婦人防火委員会に寄贈を受ける



昭和63年 県北初 はしご車配備
(昭和63年3月27日付 中国新聞社提供)



昭和63年 三次市消防音楽隊発足
(昭和63年7月15日付 中国新聞社提供)



平成2年 三次消防署訓練塔 竣工

- 10月26日 東城消防署の指揮広報車（マツダボンゴ4WD）更新
- 12月18日 三次消防署三和出張所の救急車（2B型、トヨタ4WD）更新

【平成3年】

- 2月28日 東城消防署のポンプ車（CD-I型、三菱4WD）更新
- 3月28日 庄原消防署に訓練塔建設
- 4月1日 消防本部、消防署欠員補充のため職員4名採用（職員数172名）
- 7月23日 三次消防署の指揮広報車（マツダボンゴ4WD）更新
- 9月9日 広島県同栄社共済農業協同組合連合会から救急車（2B型、ニッサンキャラバン4WD）の寄贈を受け東城消防署に配置
- 12月3日 東城消防署に大型油圧救助器具を導入
- 12月24日 三次消防署のポンプ車（CD-I型、いすゞ4WD）更新

【平成4年】

- 3月9日 庄原消防署に救助工作車（I型、いすゞ4WD）配置
- 4月1日 消防本部、消防署欠員補充のため職員4名採用（職員数173名）
- 5月 消防本部に、各種事務能力の向上を図るため、パーソナルコンピュータ（NEC、PC-9801FA）を導入
- 6月10日 消防本部の指揮広報車（マツダカペラカーゴ4WD）更新
- 10月19日 庄原消防署高野出張所の救急車（2B型、トヨタ4WD）更新
- 11月27日 東城消防署の小型動力ポンプ積載車（ニッサンアトラス4WD）更新
- 12月 三次市、庄原市、東城町、双三郡君田村・布野村・作木村・吉舎町・三良坂町・三和町、比婆郡西城町・高野町・比和町・口和町、甲奴郡甲奴町・総領町のそれぞれの議会は、備北地区消防組合の規約の変更をし、従来の消防に関する事務にふるさと市町村圏に関する事務を加え、名称を備北地区消防広域行政組合と議決した



平成4年 広島県総合防災訓練

【平成5年】

- 2月1日 備北地区消防組規約変更許可（広島県知事）
- 〃 備北地区消防広域行政組合と名称変更する
- 2月15日 備北地区消防組合設立10周年並びに備北地区消防広域行政組合発足記念式典を開催
- 4月1日 備北地区消防広域行政組合職員定数条例改正（職員定数「175名」から「201名」とする）
- 〃 消防本部、消防署の事務量増による要員確保のため、職員10名採用（職員数182名）
- 7月26日 三次消防署の資機材搬送車（マツダボンゴブローニー4WD）更新
- 12月20日 三次消防署作木出張所、庄原消防署西城出張所の救急車（2B型、ニッサンホームー4WD）更新



平成5年2月15日
備北地区消防組合設立10周年
備北地区消防広域行政組合発足記念式典



平成5年5月8日 三次町浄念寺火災

【平成6年】

- 2月17日 三次消防署の救急車（2B型、ニッサンキャラバン）更新
- 3月30日 東城消防署に救助工作車（I型、いすゞ4WD）配置
- 4月1日 消防本部、消防署の事務量増による要員確保のため、職員10名採用（職員数192名）
- 8月25日 第23回全国消防救助技術大会「斜めブリッジ救助の部」出場（京都市）
- 12月20日 庄原消防署及び三次消防署口和出張所の救急車（2B型、トヨタ4WD）更新

【平成7年】

- 1月17日 阪神・淡路大震災に伴う応援出動
- 4月1日 消防本部、消防署の事務量増による要員確保のため、職員8名採用（職員数200名）
- 5月24日 救急救命士、第1号誕生
- 8月25日 第24回全国消防救助技術大会「ロープ応用登はんの部」出場（北九州市）

【平成8年】

- 2月7日 東城消防署の水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型、三菱フソー）更新
- 2月27日 三次消防署に高規格救急車（トヨタハイメディック4WD）配置
- 3月22日 庄原消防署に25mはしご付消防ポンプ自動車（日野）配置
- 3月27日 庄原消防署はしご付消防ポンプ自動車導入に伴う庁舎増築竣工
- 4月1日 備北地区消防広域行政組合職員定数条例改正（職員定数「201名」から「210名」とする）
- 〃 三次消防署、救急救命士業務開始
- 8月28日 当消防組合初の総合防災訓練実施
- 10月1日 消防職員委員会設置



平成8年8月28日 備北地区総合防災訓練



平成9年 消防本部通信指令棟竣工

【平成9年】

- 2月19日 三次消防署の化学消防車（日野）更新
- 2月21日 庄原消防署に高規格救急車（トヨタハイメディック4WD）配置
- 2月27日 庄原消防署西城出張所の消防ポンプ自動車（MST-I型、日野4WD）更新
- 2月28日 三次消防署吉舎出張所の消防ポンプ自動車（MST-I型、日野4WD）更新
- 3月27日 消防本部通信指令棟竣工
- 4月1日 消防本部、消防署の事務量増による要員確保のため、職員5名採用（職員数205名）
- 〃 庄原消防署、救急救命士業務開始
- 6月12日 第20回全国消防職員意見発表会出場

【平成10年】

- 2月5日 東城消防署に高規格救急車（いすゞスーパーメディック4WD）配置
- 2月26日 三次消防署作木出張所、庄原消防署高野出張所の消防ポンプ自動車（MST-I型、日野4WD）更新

消防年報

40周年記念誌

- 3月1日 東城消防署、救急救命士業務開始
- 3月9日 三次消防署吉舎出張所に高規格救急車（いすゞスーパーメディック4WD）配置
- 3月16日 三次消防署吉舎出張所、救急救命士業務開始
- 3月25日 消防緊急通信指令施設完成
- 4月1日 消防本部通信指令課新設
- 〃 消防本部、消防署の欠員補充のため、職員3名採用（職員207名）
- 5月1日 消防緊急通信指令施設運用開始
- 6月5日 第21回全国消防職員意見発表会出場
- 11月9日 携帯電話から119番通報受付開始

【平成11年】

- 2月25日 三次消防署三和出張所・口和出張所・甲奴出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型いすゞ4WD）更新
消防本部の指揮車（マツダプロシート）更新
- 4月1日 消防本部、消防署の欠員補充のため職員6名採用（210名）
- 4月1日 緊急通報システム事業運用開始
- 〃 言語及び聴覚障害者等からの福祉ファクシミリ119番通報受付開始
- 9月3日 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（CD-I型、三菱4WD）の寄贈を受け、庄原消防署に配置
- 12月6日 三次消防署甲奴出張所に高規格救急車（トヨタハイメディック4WD）配置

【平成12年】

- 1月19日 三次消防署の消防ポンプ自動車（CD-I型、三菱4WD）更新
- 3月31日 鳥取県西部広域行政管理組合消防局と消防相互応援協定を締結
- 5月29日 三次消防署三和出張所に高規格救急車（ニッサンパラメディック4WD）配置
- 7月28日 東城消防署の指揮広報車（マツダフレンディ4WD）更新
- 8月23日 備北地区総合防災訓練

【平成13年】

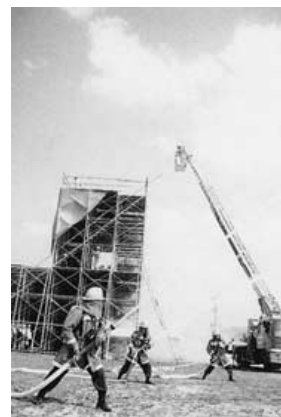
- 1月31日 三次消防署吉舎出張所・三和出張所・甲奴出張所に事務連絡車（マツダスクラム4WD）配置
- 2月28日 東城消防署無線中継局整備
- 4月1日 消防本部、消防署の欠員補充のため職員3名採用（209名）
- 5月17日 三次消防署作木出張所、庄原消防署高野出張所に事務連絡車（マツダスクラム4WD）配置
- 6月18日 三次消防署の指揮広報車（マツダフレンディ4WD）更新
- 12月12日 庄原消防署高野出張所に高規格救急車（ニッサンパラメディック4WD）配置

【平成14年】

- 5月21日 三次消防署口和出張所、庄原消防署西城出張所に事務連絡車（マツダスクラム4WD）配置



平成10年
自治体消防発足50周年事業
備北消防イメージキャラクター
「トンビ君」誕生



平成12年8月23日
備北地区総合防災訓練

12月19日 三次消防署作木出張所に高規格救急車（トヨタハイメディック4WD）配置

【平成15年】

4月1日 消防本部、消防署の欠員補充のため職員7名採用（208名）女性消防吏員誕生

5月12日 備北地区消防広域行政組合規約変更許可（広島県知事）

5月12日 副管理者に三次市助役が加わる（副管理者15人）

9月1日 広島県総合防災訓練

12月16日 三次消防署口和出張所に高規格救急車（トヨタハイメディック4WD）配置



平成14年 消防ポンプ操法競技大会

【平成16年】

3月 庄原市、西城町、東城町、口和町、高野町、比和町、総領町のそれぞれの議会は、構成市町村合併に伴い、「三次市、君田村、布野村、作木村、吉舎町、三良坂町、三和町、甲奴町」が脱退し、新に「三次市」として加入する備北地区消防広域行政組合規約の変更を議決した

4月1日 備北地区消防広域行政組合規約変更許可（広島県知事）

三次市、君田村、布野村、作木村、吉舎町、三良坂町、三和町、甲奴町が合併、新「三次市」として加入し2市6町で組織する（副管理者8人）

〃 消防本部、消防署の欠員補充のため職員5名採用（職員数210名）

8月26日 第33回全国消防救助技術大会「斜めブリッジ救助の部」出場（兵庫県三木市）

【平成17年】

3月 三次市、庄原市、西城町、東城町、口和町、高野町、比和町、総領町のそれぞれの議会は、「庄原市、西城町、東城町、口和町、高野町、比和町、総領町」の合併に伴い、構成団体が減少する備北地区消防広域行政組合規約の変更を議決した

3月28日 庄原消防署の化学消防ポンプ自動車（日野）更新

3月30日 備北地区消防広域行政組合規約変更許可（広島県知事）

〃 庄原消防署西城出張所に高規格救急車（トヨタハイメディック4WD）配置

3月31日 組合は、三次市・庄原市の2市で組織する（副管理者2人、組合議員16人）

4月1日 消防本部、消防署の欠員補充のため職員5名採用（職員数210名）

6月 気管挿管認定救命士運用開始

9月29日 備北地区消防広域行政組合規約変更許可（広島県知事）[火薬類及び高圧ガスの設置許可等に係る県からの権限移譲]

10月13日 本部指揮広報車（マツダファミリア4WD）更新

12月9日 三次消防署に高規格救急車（トヨタハイメディック4WD）配置



平成18年度消防機器の開発
消防庁長官表彰奨励賞
「呼吸管理補助器具（フィットマン）」

【平成18年】

3月31日 備北地区消防広域行政組合規約変更許可（広島県知事）
[収入役（三次市収入役）の用語等の変更]

- 4月1日 消防本部、消防署の欠員補充のため職員9名採用（職員数211名）
- 6月 薬剤投与認定救命士運用開始
- 8月24日 第35回全国消防救助技術大会「はしご登はんの部」出場（札幌市）

【平成19年】

- 3月9日 庄原消防署に高規格救急車（トヨタハイメディック4WD）配置
- 3月27日 三次消防署に災害対応特殊消防ポンプ自動車（日野）配置
- 3月29日 東城消防署に消防ポンプ自動車（日野）配置
- 3月 三次市・庄原市両市議会は、ふるさと市町村圏に関する事務を廃止し、備北地区消防組合に名称変更する備北地区消防広域行政組合同規約の変更を議決した
- 3月29日 備北地区消防広域行政組合同規約変更許可（広島県知事）
- 4月1日 備北地区消防組合と名称変更する
- 〃 消防本部、消防署の欠員補充のため職員5名採用（職員数211名）
- 7月20日 消防本部の指揮広報車（マツダプレマシー4WD）更新

【平成20年】

- 4月1日 消防本部、消防署の欠員補充のため職員6名採用（職員数210名）
- 10月21日 平成20年度総合防災訓練
- 11月20日 東城消防署に高規格救急車（トヨタハイメディック4WD）配置

【平成21年】

- 2月25日 三次消防署の救助工作車（日野）更新
- 3月27日 備北地区消防組合同規約変更許可（広島県知事）[消防組合を構成する三次市の機構改革に伴う条文の変更]
- 4月1日 消防本部、消防署の欠員補充のため職員4名採用（職員数211名）
- 8月20日 第38回全国消防救助技術大会「はしご登はんの部」出場（横浜市）
- 11月30日 三次消防署吉舎出張所の高規格救急車（トヨタハイメディック4WD）更新



平成21・22年度
三次消防署救助工作車
30m級はしご車更新

【平成22年】

- 2月2日 三次消防署の30mはしご付消防自動車（日野）更新
- 4月1日 消防本部、消防署の欠員補充のため職員6名採用（職員数211名）
- 7月16日 庄原市ゲリラ豪雨災害



平成22年7月16日 庄原市ゲリラ豪雨災害

